小平町校務DX計画

○ 令和６年度から各小・中学校へ校務支援システムを導入し、出退勤管理、教職員間の連絡や通知表等を同システムで一元管理することで、日々の確認工程数の減少や他校からの異動に伴う校務処理方法の変更を最小限にするなど、教職員の多忙化への対策を行った。

○ 今後の校務支援システムに関する方向性は、教職員が更に使いやすく負担の少ない校務DXを推進するために、日々の業務を省略できるような機能の追加や既に利用している他のシステムで校務支援システムと連携がとれないものがあれば置き換え等の検討を行う。

○ また、次世代の校務支援システムは、クラウドベースの校務環境に適合したものへと入れ替わっていくことから、スムーズな移行が可能となるよう、現状の校務ネットワーク・システムの分析や望ましい校務の在り方について検討する。

○ 教育委員会と学校間の事務に関しては、メールでのやり取りを基本とし、各種届出や鑑文書の省略、押印の廃止については、その必要性等を検証しながら、随時、簡略化できるよう変更を行っていく。また、大容量データの受け渡しや年間行事などの全校で共有すべき事項は、クラウドツール等を活用し、ペーパーレス化の推進を図る。

○ 学校から保護者への連絡は、情報共有・連絡ソフトを用いての発信が可能となっており、今後、さらに各種手続きを簡略化できるよう体制を整え、活用の幅を広げていく。その他外部への各種やり取りについては、FAXでのやり取りの原則廃止を行い、メールやクラウドサービスを用いて実施できるよう、準備・検証等を行い、教職員や学校関係者の負担軽減に係る取り組みを進めていく。

○ 授業研究会や校内研修等では、オンデマンド視聴やオンライン形式を積極的に取り入れ、さらなる校務の効率化やコミュニケーションの迅速化を図る。